

注目 新サービス特集

市場の変化、システムで対応

マルチデバイス化などで問題解決

スマートフォン(スマホ)、タブレット端末の台頭、競争の増加、異業種などの新規EC参入。こうした市場の変化を受け、EC事業者の抱える悩みを解決する新サービスが続々と現れている。今特集では本紙がピックアップした新サービスを提供するシステム会社4社を取り上げる。

今回取材したのは、**グカート**を販売するS マルチデバイス化に対応するショッピングカートを発表した**ロックウェーブ**(本社滋賀県)、顧客属性に合わせたサイトのデザインを自由自在に変えることができる**ショッピングカート**を開発する**アイシップR**、**グカート**を販売する**システム**を提供する**Free x**(フルックスフレックス、本社東京都)の4社。

一方で、EC市場を狙う新規参入組が増加。異業種から進出する大企業や、全国に商圏を広げたい中小企業や新たに起業してECを始める企業も増え、事業規模や業態に合ったサービスを求める動きが増えている。

このような企業が抱える問題を解消するための新システムを取材、サービスの詳細を紹介する。

スマホ対応、リピート強化などの支援が登場

EC構築サービス「アイシップR」販売開始

ロックウェーブ 岩波裕之 社長

ショッピングカート開発のロックウェーブ(本社滋賀県、岩波裕之社長、077-525-1073)は、このほど、同じソースコードで各端末に合わせた画面レイアウトへ自動的に最適化表示する、レスポンスウェブデザイン(RWD)を採用したEC構築サービス「アイシップR」の販売を始めた。RWDを採用したASPカートは珍しい。スマートフォン(スマホ)、タブレット端末が普及する中、RWDの需要は今後高まると予測されている。RWD採用の狙いなどを岩波社長に聞いた。

「アイシップR」は、ネットにつながるあらゆる端末の画面の大きさに応じて、サイトを最適化表示することができるRWDを採用している。ショッピングカートASP「アイシップR」上でECサイトを構築すると、パソコン、ガラパゴス携帯、スマホ、タブレットなどの端末に最適化したサイトを表示することができる。今後台頭す

グカートを提供するシステムを提供するFree x(フルックス、本社東京都)の4社。EC業界はスマホやタブレット対応に頭を悩ませたり、競合との競争激化で差別化に悩む企業が多い。

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

RWDカートでマルチデバイス化を支援



「アイシップR」は、ネットにつながるあらゆる端末の画面の大きさに応じて、サイトを最適化表示することができるRWDを採用している。ショッピングカートASP「アイシップR」上でECサイトを構築すると、パソコン、ガラパゴス携帯、スマホ、タブレットなどの端末に最適化したサイトを表示することができる。今後台頭す

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが



一つのソースコードでスマホサイト(写真左)とパソコン向けサイトを作ることができる

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが

「アイシップR」は、端末ごとの特徴がないと商品が売れない。「アイシップR」は、デバイスごとに特徴を表現できるようにした。スマホとPCサイトのヘッダー部分を異なるものにするなど、レイアウトを変えられることが